

ひらつか

一歩先の授業へ

「前転はできてるね」。タブレットで撮影した動画を見ながら、チェックシートに記入する南原小学校(南原1-11-31)の児童たち。小学校の授業では、持ち運びできる機器の特性を生かした授業が始まっています。詳しくは2面へ。

目次

- 1～3面…**特集** 未来の教育への扉…新しい技術を使った小学校での教育への取り組みを紹介します。
4～7面…募集・健康と福祉・お知らせ・スポーツ
8面…ヒラツカルチャー「博物館モノ語り」

ひらつか
議会だより

平塚市の人口と世帯数
<平成29年1月1日現在()内は前月比>

人 口 258,141人…(-18)
世帯数 108,679世帯…(+57)



未来の教育への扉

タブレットなどのICT(情報通信技術)を、小学校の授業でも活用しています。新しい学習効果が期待できる一方、インターネット利用時のトラブルなどの心配もあります。どうやって利用するのが最善か、教育現場では日々模索しています。

問 教育研究所 ☎ 33-2121

広がる授業の可能性

「今日の体育の授業はタブレットを使って、お互いの演技を撮影するよ」。南原小学校の体育館に響く教員の声。4年2組、24人の児童が3人一組に分かれ、グループでマット運動の演技を撮影します。撮影した動画をスロー再生するなどして見返し、課題ができていないかを確認し合います。

実感する大きな変化

「タブレットを使うことで、体育や理科、調べ物をして発表する総合学習の授業が大きく変わりました」と話す教務主任の下原修先生。体育では



「最も効果のある利用方法を見つけないですね」と下原先生



自分自身の動きを確認できるようにしました。「これまでも、教員や友達から指摘されて動きを直せましたが、自分の目で確認するのが一番効果があります」と下原先生は強調します。理科の実験で、物質の温まり方を調べたときには、班ごとに録画した実験の経過をモニターに映し出し、全員で確認しました。

さらに、持ち運びが可能なので校外学習で動画や写真を撮影して、学習発表用の映像を作りました。これまでは、学んできたことを、手書きでまとめて模造紙などを使って発表していましたが、タブレットを利用することで、映像や音声など、表現方法が静から動へと変化しました。「これまでもビデオカメラを使って映像を作ったことはありましたが、作業に時間がかかり、全てを児童に任せることはできませんでした。今はタブレットを利用することで、児童だけでも気軽にできるようになりました」。

授業での活用方法はまだまだ検証中。国語や算数など、



「やった、できた」。自分の演技を見て喜びの声が上がります

他の教科へどう生かすのか、これからの課題です。

教員のスキルアップを

「パソコンが導入されたときにもありましたが、教員が新しい機器に苦手意識を感じ、授業で使うことに不安を覚えることがあります」と下原先生。同校では、タブレットの使い方のマニュアルを独自に作成し、情報の共有化を進めています。さらに、「どの世代の教員にも使いこなせるような研修をすることが必要です。一回一回の授業が検証の場でもあるので、多くの教員で共有していきたいと考えています」と力を込めます。

「PTAの会議などで保護者にもタブレットの導入を知らせています。そうすると授

業で使おう、という気持ちが教員にも生まれますからね」と笑顔で話します。

全員が主役になる道具

今は試行錯誤の状態ですが、「タブレットの導入に特別

安心して使うために

学習のための道具として導入が進むICT機器。便利な道具である一方、正しい使い方を学ぶことも必要です。

モラルを学ぶ教室

「今からプリントを配ります。正しいと思うものにはマルを、間違っていると思うものにはバツを付けてみて」と真土小学校(西真土4-3、

楽しい授業のサポートを



使い方を説明する青嶋主査(写真左上)

「地図で、エジプトのピラミッドを探してみましょう」。1月6日、教育会館で、タブレットのワンポイント研修が開かれ、市内の小・中学校の教員24人が参加しました。地図アプリやカメラ機能などを使い、文字入力や動画の再生方法などを学ぶ同研修。主催した、教育研究所の青嶋俊憲主査は「タブレットに触ったことがない教員もいると思い、基本講座という形で開きました」と話します。

同研究所では、平成27年2月にタブレットを80台整備し、希望する小・中学校へ貸し出しています。本年度の利用率は、平均で80%ほど。学校からは使用した教科や有効だと感じた点、課題と感じた点などの報告を受けます。「教育研究所のタブレットは、授業の検証用としての利用が多いです」と話す青嶋主査。「今回の研修でも、『どうやって授業に活用すればいいのか』という質問が多く寄せられました。活用事例を蓄積して学校の授業に役立てたいです」と続けます。機器の整備と教員の技術の向上、二つを同時に進めていきます。

研修に参加した教員からの「タブレットを使えば児童が喜ぶ授業ができる」という感想を聞いて、「子どもたちが楽しく学ぶためのサポートができれば」と青嶋主査は期待を込めます。



自分なりの答えを書き込みます



同級生の前転を撮影する児童。タブレットなら何度でも見直せます

●実態を知って効果的な指導を●

金目小学校(南金目907)では、全児童と保護者を対象に、教育ネット(3面本文2行目)の協力で、インターネット利用の実態調査を、平成27年と28年に実施しました。

情報モラル教育が年間計画に位置づけられている同校では、各学年に1人、担当の教員がいます。「児童が使っている機器や、使用の頻度・目的などを把握することで、より実態に沿った指導ができます。調査は保護者からの回答率も高く、関心の高さを実感しました」と竹内宣



「家族の会話が大切」と竹内先生

広先生は話します。「YouTubeを見ている児童が低学年で約50%、高学年では約80%と、実際の数字を知って驚きました」と調査の結果を振り返ります。

●ルールを決める大切さ

ゲーム機やインターネットなどを使う時のルールが

あると回答した児童は、全学年で80%以上でした。一番多いのは、使う時間に関するルールです。利用料金や、使う場所のルールを決めている家庭も多いです。「自分自身で危機管理やコントロールがまだまだできない児童には、家庭でのルールづくりがとても重要です」と竹内先生は強調します。「ルールは『お小遣いをいくらにするか』と同じように家庭によってさまざま」と話す竹内先生。学校が一律に決めることができないため、家庭で話し合っ

●保護者も自覚を持って

「ゲーム機やスマートフォンなどは、『無条件で子どもに渡しているものではない』という自覚を保護者が持つことも大切」と竹内先生は呼びかけます。「休みの日に何時間くらいゲームやパソコンなどを使っていますか」という質問に「8時間以上」と答えた児童が6年生では4.5%いましたが、保護者の回答では0%。「保護者の認識と児童の実態の差を埋めるには、コミュニケーションが必要です」。今回の調査では、自分専用の携帯電話やスマートフォンを持っている児童は30%に満たないですが、中学生になると、多くの生徒が持ち始めます。「中学生になってから、急に注意をしても浸透しません。小学生のうちから利用するときの注意点を指導していかなければ」と強く訴えます。

●目の届く範囲なら安心●

「ゲームは1日1時間って決まっています」と金目小学校3年生の梶村雄大君(写真左)。もう一つの大切な約束は、「ゲームの中でお金は使わないこと」と教えてくれました。

「約束を守れているか確認のためにも、日頃の会話を大切にしています」と話す母の涼子さん(写真右)。「ゲーム機では一人で遊んでいますが、タブレットは一人では使わせないようにしています。いろいろな情報が手に入るので、子どもだけで使うのは少し心配なので。部屋にこもってしまわないようにするためにも、リビングなど目の届く所で使っています」。

「安心して遊ぶには、決まりを守らない」と雄大君。これから学年が上がると、タブレットなどを使う機会が増えると考えられます。「その時々で、話し合い、家族のルールを決めたいですね」と涼子さんは笑顔で話します。



ポイントを押さえた内容
真土小学校では、夏休み前の7月11日にも6年生を対象に、情報モラル教室を開きました。同校教頭の土屋浩明先生は「児童や保護者に注意喚起をするために、長期休暇に入る前に実施しました。6年

生の児童たちの中で、携帯電話やゲーム機などの所持率が上がってきたこと、またそれに伴う通信上のトラブルに巻き込まれないためです」ときっかけを話します。
「学年ごとに注意すべき点が違うんです」と大笹さん。一般的に1・2年生は、遅くまでゲームで遊んでいたら寝坊してしまったなど、生活に密着した内容を、パペットを使い人形劇仕立てにするなどして話します。
3・4年生になると、インターネットの利用が増えてきます。情報の真偽の見分け方など、受け手として気を付けることを中心に話します。5・6年生になるとコミュニケーションツールでのトラブルが起き始め、動画など自分から情報を発信する児童も出てき

ます。インターネットで発信した情報は消すことができないなど、送り手としての注意も話します。「単発のイベント的な授業だとなかなか浸透しにくいですね。1学年違うだけでも子どもの状況は大きく変わります。段階的に知っていく方が効果的です」と大笹さんは解説します。

「自分事」だと伝える

情報モラルの分野には、詳しい教科書はありません。「子どもたちが、自分に関わることと思えるような内容を心掛けていきます」と強調する大笹さん。クイズ形式で聞いたり、ドラマ仕立ての映像を流したり、子どもたちが興味を持つように工夫をします。「そうしないと、一方的なお説教になってしまい、子どもたちに響かないんです」と続けます。具体的な事例を交えながら、「自分ならこうする」といった意見を引き出せるような内容で、子どもたちの日常に歩み寄っていくことが重要です。

大人も一緒に考えて

情報モラル教育が、怖い面を強調するだけで終わっていることに危機感を覚えると話す大笹さん。子どもが興味を持つていることに寄り添うことが必要です。

「子どもが何を考えているのか、分からないことがあったら、どんどん話し掛けてください。自分の知らないことは子どもに教えてもらいながら、大人も一緒に勉強すればいいんです」とほほ笑みます。



「インターネットを使っていて、知らない人に声を掛けられたらどうする?」。会話をするような大笹さん(写真左)の授業に児童は引き込まれます

元気応援会員になって地域に貢献しよう



元気応援会員は市内の介護保険施設などで、高齢者の話し相手や趣味を生かす活動などをします。活動するとポイントがたまり、市の名産品などの他、交付金に交換できます。



髪をセットする鈴木さん(右)

「活動を通して、社会参加・地域貢献をしてほしいです。もっと高齢者の方が元気になることで、介護予防につなげていきたいです」と市社会福祉協議会の芦川好宏技能主査(下写真)は呼びかけます。現在、ひらつか元気応援ポイント事業では約200人の会員が実際に活動しています。

「まだまだ元気応援ポイントのことを知られていないと感じます」と話す芦川さん。各福祉会館で説明会を開くなど、積極的に広

報活動が続けています。「多くの方に知ってもらい、会員数を増やして、この事業をもっと活気づけていきたいです」と熱を込めます。

♪得意なことを生かせる

活動の場は市内の特別養護老人ホームや介護老人保健施設など46施設です。活動内容は、利用者の趣味・余暇活動の手伝いや話し相手の他、お茶だし・配膳など、受入機関によって異なります。「会員の皆さんは、受入機関一覧表から施設を選び、直接、施設に連絡します。自分に合った活動や受入機関を選ぶことができます」と芦川さんは説明します。活動日などは、受入機関の担当者と調整し、事前

に面談する場合もあります。活動をすると、活動時間に応じてポイントがたまります。ポイントは1時間の活動で1個、1日あた

問 福祉会館 ☎33-3100

り2個が上限です。1ポイント100円とし、年間5,000円を限度に100円単位で交付金と交換できます。また、市内の名産品や地場産の農水産物を使った加工品を詰め合わせた「元気応援セット」に交換もできます。平塚生まれのお米「はるみ」など、ポイントに応じて、交換できる商品が変わります。

♪利用者の声がやりにい

「お風呂からあがった利用者さんの髪を乾かして、おしゃれに整えることが私の役割なんです」と袖ヶ浜デイサービスセンター(袖ヶ浜20-1)で活動する鈴木記久子さん(右上写真)は話します。

夫の介護をきっかけに17年前からボランティア活動を始めた鈴木さん。この事業が平成23年10月に開始したと同時に会員になり、週2回ほど活動するようになりまし

た。「ポイントをもらえるのはもちろん、何よりも利用者の皆さんに喜んでいただくと、私は1日中うれしい気持ちになれるんですよ」とほほ笑みます。

「誰に対しても尊敬の目を持って、安心してもらえるように接しています。利用者さんと喜びを分かち合えることが1番のやりがいですね」と声を弾ませます。

♪説明会に参加しませんか

説明会に参加すると会員登録ができます。詳しい内容はお問い合わせください。

2月16日(木)午前10時～11時30分。南部福祉会館(袖ヶ浜20-1)。市内在住の65歳以上の方。

「やりがいを見つけたい」と話す芦川技能主査



市の素案にご意見をお寄せください

パブリックコメント手続き

制度では、事前に案を公表して市民の皆さんから意見を募ります。

案の内容は①が2月3日(金)～3月6日(月)②が2月6日(月)～3月7日(火)に、

公民館や市ウェブなどで閲覧できます。

①庁舎及び文化ゾーンにおける駐車場有料化個別計画素案②効率的で公平な駐車場の管理運営と、経費の負担増大を抑えることを目的に策定します。

②将来構想「平塚市民病院Future Vision 2017-2025」(素案)

団塊の世代が75歳を迎える2025年問題などを踏まえ、市民病院の方向性を示すために策定します。

募 意見・必要事項(団体の場合は団体名と代表者名も)を、郵送・ファクス・メール

または直接、①は3月6日までに、本館4階の資産経営課 ☎21-8763 shisan@byoin-kk. ②は7日までに、市民病院経営企画課 ☎32-0015 byoin-kk. ファクスはいずれも ☎0120-704589へ。

農業委員・農地利用最適化推進委員になりませんか

選考。任期は7月31日から3年間。

農業委員 農業委員会総会への出席や、農業の発展を促進

募集

応募方法は下段

するために活動します。14人。農地利用最適化推進委員 担当地区で農業委員と連携し、活動します。17人。

応募条件など詳しくは、市ウェブなどをご覧ください。

募 郵送または直接、3月1日(水)～31日(金)に、本館5階の農業委員会事務局 ☎21-9851へ。

教育委員会の嘱託員

各1人(選考)。①スクールソーシャルワーカー②幼稚園教諭③学芸事務補助。採用は4月1日以降。雇用期間は1年以内。採用試験は①2月15日(水)午前9時～11時30分②16日(木)午後1時30分～3時30分③17日(金)午前9時～11時30分。

募 豊原分庁舎1号館2階の教育総務課 ☎35-8113や公民館、市ウェブなどにある受験申込書に写真を貼り、本人が直接、2月3日(金)～13日(月)の平日、午前8時30分～午後5時に、同課へ。

ガイドと巡る文化資源

「曾我物語 虎御前の道」のコースです。自転車・オートバイでは同行できません。2月26日(日)午前9時30分～午後0時30分。約4.8km。荒天中止。神奈中バス停「山下団地入口」に集合し、延台寺(大磯町大磯1054)で解散。300円、中学生以下は無料です。

募 コース名・全員の必要事項を、はがき・ファクス・メールで、2月19日(日)までに、社

応募方法

募＝応募方法

(応募が必要です)

問＝問い合わせ

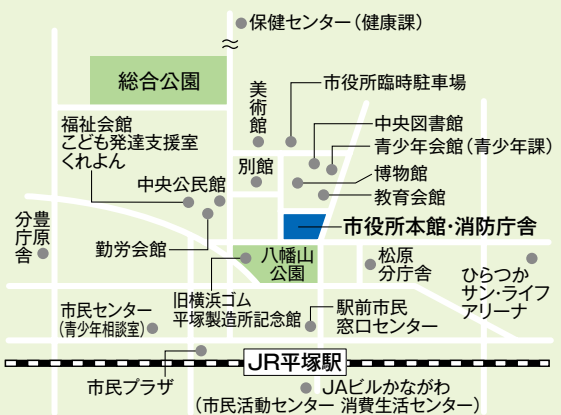
必要事項とある場合、郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号

をご記入ください。

市役所への郵便物は、〒254-8686平塚市役所〇〇課で届きます。

募集開始日の記載がない場合、2月6日(月)午前8時30分から、受け付けます。

メールの応募の場合 ☎以下に city.hiratsuka.kanagawa.jp を付けてください。



記入例

往復はがき

イベント名
郵便番号
住所
全員の氏名
電話番号
その他の事項

郵送・ファクス・メール

イベント名
郵便番号
住所
全員の氏名
電話番号
その他の事項

会教育課 ☎35-8124 FAX 34-5522 k-shakai@city.hiratsuka.jp

暮らしの講座

事前に知っておくべき葬祭の知識や心構えなど、実例を交えて学びます。

2月24日(金)午前10時～正午。市民活動センター1。市内在住・在勤・在学の方50人(先着順)。1歳以上の未就学児の保育もあります(4人・先着順)。

募 講座名・氏名・電話番号・保育の有無を、電話・メールで、2月3日(金)から、市民情報・相談課 ☎20-5775 jousou@city.hiratsuka.jpへ。

まちづくり探偵団

現地調査をして、平塚駅南口のなぎさプロムナード周辺

女性の無料法律相談会

親権・養育費など、夫婦関係にまつわる法律相談です。

3月7日(火)・13日(月)。各日7回。①午前9時30分～10時10分②10時20分～11時30分③11時40分～12時50分④午後0時50分～1時30分⑤1時40分～2時20分⑥2時30分～3時

のまちづくりを学びます。簡単なまちの模型も作ります。3月27日(月)午後1時～4時30分。市民活動センター1集合。市内在住の小学校3～6年生と保護者20組(抽選)。

募 子どもと保護者の必要事項・子どもの学校名と学年を、ファクス・メールで、3月3日(金)までに、まちづくり政策課 ☎21-8781 FAX 21-9769 machi@city.hiratsuka.jpへ。

友好都市 伊豆市民ツアー

静岡県伊豆市の修善寺温泉街で案内人の説明を聞きながら、生誕150年の夏目漱石ゆかりの地などを巡り、文学と歴史を学びます。また、昭和3年に日本画家横山大観の居室・アトリエとして建てられ、平成26年2月に開館した「銀座金澤翔子美術館修善寺」も見学します。自由散策後、伊豆文学フェスティバル・文学塾へも参加します。

3月5日(日)午前7時～午後6時。荒天中止。平塚駅北口NTTビル(明石町1-30)前に集合・解散。市内在住・在勤・在学で小学生以上の方40人(抽選、小・中学生は保護者同伴)。飲み物・雨具など。1000円(観覧料)。動きやすい服装と靴でお越しください。

募集人数(1組2人まで)・全員の**必要事項**・生年月日・性別・年齢を、郵送・電話・ファクスで、2月3日(金)15日(水)午後5時に、文化・交流課☎25-2520 FAX 23-9467へ。



歴史情緒あふれる修善寺を満喫しませんか

10分⑦3時20分～4時。教育会館。市内在住・在勤・在学の女性14人(各回1人・抽選)。未就学児の保育もあります。

募集 必要事項・希望する相談日と相談時間の番号(第2希望まで)・保育を希望する方は、子どもの氏名と年齢を、はがき・電話・ファクスで、2月28日(火)までに、人権・男女共同参画課☎21-9861 FAX 21-9736へ。

創業応援セミナー

テーマは「創業時期に必要なヒトへの備え」です。交流会もあります。

2月7日(火)午後6時～8時30分。平塚信用金庫本店(紅谷町11-19)。創業を考えている方・創業5年未満の方50人(先着順)。交流会への参加を希望する方は2000円。

募集 平塚信用金庫☎24-3044 FAX 23-3457 0238100@hiraatsuka-shinkin.jpまたは、同金庫ウェブなどにあるチラシを、ファクス・メールで、同金庫へ。

里山体験ワークショップ

里山の散策路の整備や吉沢八景のサイン板作り・ビンゴをします。活動後に懇親会もあります。

3月11日(土)午後1時～5時。雨天決行。吉沢公民館(上吉沢395)集合。80人(先着順・小学生以下は保護者同伴)。保険証の写し・タオル・雨具・帽子。300円。作業に適した服装・靴でお越しください。

募集 **必要事項**・年齢を、電話・ファクスで、湘南ひらつか・

ゆるぎ地区活性化に向けた協議会☎58-4179 FAX 58-4326へ。

美術館ワークショップ

抽選。②③は保護者が2人以上の場合、観覧券が必要です。

① 鑄造ガラスでオブジェを作ろう 石こうの型にガラスの粒を流し込み、窯で焼いて作ります。

3月11日・18日の土曜日、全2回、11日は午前10時～午後3時・18日は午後1時30分～4時。中学生以上の方20人。3000円。

② 0歳からの鑑賞ツアー 鑑賞の仕方や、赤ちゃんがどの作品にどんな反応をするかを講師が説明します。

3月12日(日)午後2時～3時。2歳以下の乳幼児と保護者15組30人。

③ キッズ鑑賞ツアー 企画展を鑑賞します。

3月16日(木)午後2時～3時。3歳～小学生の子どもと保護者15組30人。

募集 講座名・開催日・参加者全員の**必要事項**・年齢②③は子どもの生年月日と年齢①②は2月2日(木)～23日(木)③は9日(木)～3月2日(木)に、〒254-0073 西八幡1-3-3 美術館☎35-2111 FAX art.muse@へ。メールはタイトルに講座名と開催日を記入してください。

図書館の雑誌に広告を掲載しませんか

市内4館の図書館には、年間約76万人が訪れます。雑誌本体にスポンサー名を、雑誌

花巻市の物産と観光展へ行こう

友好都市・岩手県花巻市の名産品である菓子や漬物や、りんご・お米などの産地直送の農産物を販売・紹介します。毎日先着30人に花巻市の特産品をプレゼントする他、景品が当たる抽選会などもあります。また、会場入り口では、毎日午後2時から、甘酒などを振る舞います。

2月16日(木)～19日(日)、午前10時～午後6時(19日は午後5時まで)。市民プラザ。

問 文化・交流課☎25-2520



花巻市の味覚をお楽しみください

健康と福祉

歯って得する健口生活

口臭の予防法を学びます。希望者には口臭判定もします。

3月3日(金)午後1時30分～3時。保健センター。市内在住・在勤の方40人(先着順)。

募集 電話で、健康課☎55-2111へ。

高齢者住まい探し相談会

賃貸住宅を探している高齢者に、相談員がアドバイスします。

2月16日(木)午後1時30分～4時。福祉会館。

募集 電話で、かながわ住まい・



マッサージなどを受けませんか

家族介護リフレッシュ

参加者同士の交流や情報交換をします。疲れを癒やすた

まちづくり協会☎045-664-896へ。

応募方法は4面

にある申込書を、郵送・ファクスまたは直接、1次募集は平成29年2月26日(日)までに、〒254-0041 浅間町12-41 中央図書館☎31-0415 FAX 31-9984 または設置希望館へ。2次募集は3月9日(木)から設置希望館へ。

弱視レンズなどの展示会

弱視レンズや拡大読書器などの視覚補助具を展示します。

2月15日(水)午後2時～4時。平塚盲学校(追分10-1)。

問 平塚盲学校☎31-1341

市民公開講座 寝たきりにならないために

病気や医療情報について、分かりやすく解説します。

2月18日(土)午後2時～4時。保健センター。

問 平塚市医師会☎52-0355

お知らせ

リトアニア展

平塚で東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の事前キャンプをするリトアニアの展示会を開きます。同国を代表する世界遺産の写真の展示や、リオオリンピック出場チームの紹介などをする他、同国製の雑貨などを販売します。

2月2日(木)～10日(金)、午前8時30分～午後5時(10日は午後3時30分まで)。本館1階多目的スペース。雑貨などの販売は6日(月)～10日、午前10時～午後3時30分。
問 企画政策課 ☎21-8797

文化講演会

テーマは「戦後復興への関与と退職後の活動」です。講師が戦中戦後の激動の時代を復興に向けて、どのように乗り越えたかなどを話します。

2月12日(日)午後1時～3時。中央公民館。
問 社会教育課 ☎35-8123

逸品お披露目会

平塚逸品研究会に参加する37店舗が披露します。
2月23日(木)午後2時～4時。平塚商工会議所(松風町



各店の一押し品がそろいます

2～10。

問 平塚商工会議所 ☎22-5111

総合公園で停電・断水

電気設備点検のため、2月27日(月)午前9時～午後4時に、全施設の電気・水道が止まります。点検中は園内に仮設トイレを設置します。

問 総合公園管理事務所 ☎35-2233

公民館まつりを開きます

公民館を利用しているサークル・団体や地域の方が日頃の活動成果を発表します。芸能発表や作品展示、模擬店などもあり、大人から子どもまで楽しめます。詳しいイベント内容などは、各公民館に置いてある「公民館だより」をご覧ください。

岡崎 2月12日(日)・18日(土)・19日(日)。須賀 17日(金)～19日。南原 18日・19日。松原・花水・大野・松が丘・横内・土屋・旭南 25日(土)・26日(日)。八幡 25日・3月4日(土)・5日(日)。四之宮・豊田 2月26日・3月4日・5日。崇善・富士見・なでしこ・大原・神田・城島・金目・金田・吉沢・旭北 4日・5日。中原・大神 11日(土)・12日(日)。
問 中央公民館 ☎34-2111

湘南ひらつかふれあいマーケット 朝市

地元産の魚や野菜、名産品などを販売します。買い物した方に景品が当たるイベント

もあります。

2月26日(日)午前7時～8時。小雨決行。総合公園南駐車場。

問 産業振興課 ☎21-9758・当日の午前6時～8時30分は開催本部 ☎090-3215-0106へ。

SunSunマルシェへ行こう

手作り雑貨やアクセサリ、キッチンカーで作ったできたて料理の販売などをする、平塚の魅力がたくさん詰まった青空市です。

2月12日(日)午前10時～午後2時。小雨決行。湘南海岸公園(高浜台34-1)。同公園東側の臨時駐車場をご利用ください。
問 アルベリアールホーム ☎31-7211

スポーツ

体育館を個人開放します

1人でも参加できる個人利用の日です。東海大学地域スポーツクラブの管理者が初心者に対するアドバイスをやけがの応急処置などをします。

市内在住・在勤・在学の方。小学校3年生以下と、午後6時以降の中学生以下の利用は保護者同伴。室内用運動靴・運動用具。本人確認ができる運転免許証などをお持ちください。

中原中学校(御殿4-5-1) 2月9日(木)午後7時～9時。バドミントン・バスケットボールなど。
金目中学校(南金目10-13-2) 27日(月)午後7時～

パラスポーツを体験しませんか

年齢や障がいの有無にかかわらず、誰でも楽しめるパラスポーツの体験会を開きます。講師がボッチャ(写真)と車いすバスケットボールを指導します。

2月11日(祝)午後1時～4時。みずほ小学校(北金目2-39-1)。小学校3年生以下は保護者同伴。室内用運動靴。本人確認ができる運転免許証などをお持ちください。

問 スポーツ課 ☎31-3060



ボールを投げたり、転がしたりして、白い目標球に近づける競技です

応募方法は4面

県障がい者スポーツ大会

①ボウリング・アーチェリー 4月2日(日)。湘南とうきゅうボウル(藤沢市遠藤滝ノ沢688-10)。県総合リハビリテーションセンターアーチェリー場(厚木市七沢516)。

②フライングディスク 16日(日)。厚木市宮及川球技場(厚木市及川1-17-1)。

③陸上(身体障がい者) 30日(日)。厚木市荻野運動公園陸上競技場(厚木市中荻野1500)。

④陸上(知的障がい者) 5、

ベルマーレワンダーランド

サポーターの皆さんが湘南ベルマーレの選手と直接交流できるブースがあります。また、特設ステージでは選手が参加するさまざまなイベントを開きます。

2月11日(祝)正午～午後3時。小雨決行。平塚駅北口中心商店街。

問 湘南ベルマーレ ☎25-1211



サポーターと握手を交わす山田直輝選手

集まろう！総合公園

ShonanBMWスタジアム平塚

総合公園北西に位置する同スタジアムは、昭和62年に開設されました。Jリーグに所属する湘南ベルマーレのホームスタジアムとしても広く知られています。毎年「湘南スタイル」を貫く選手たちの熱い戦いが繰り広げられるスタジアムは、多くのサポーターの熱気に包まれます。

また、陸上競技ではリオデジャネイロオリンピック男子10

0分日本代表の桐生祥秀選手が昨年、学生記録となる10秒01を出した日本学生陸上競技個人選手権や、実業団と大学生から選ばれたトップアスリートが競う、秩父宮賜杯実業団・学生対抗陸上競技大会が毎年開催されています。

大会やイベント、工事を含むメンテナンスがない日は、個人でも陸上競技利用ができます。

総合公園管理事務所 ☎35-2233



みんなの力

子どもにラグビーとの出会いを

平塚市ラグビーフットボール協会 会長
山下 邦夫さん

「子どもたちにラグビーの楽しさを体験してもらいたいですね」と話すのは平塚市ラグビーフットボール協会の山下邦夫会長。昨年4月に設立された同協会が開く体験教室には、3～12歳の子どもが約30人集まり、声を弾ませながらラグビーボールを追いかけています。現在は山下会長ら協会に所属する18人のメンバーが、月1回の体験教室などを通して、子どもたちにラグビーを教えています。「今年の4月から正式にスクールを立ち上げるので、子どもたちのスポーツの選択肢にラグビーが加われば」と山下会長は期待を込めます。

今回は2月19日(日)午後1時30分から、土沢多目的広場(上吉沢1689-1)で開催されます。詳しくは、同協会ウェブをご覧ください。



プロバスケットBリーグ

プロ選手による大迫力のバスケットボールを楽しみませんか。

トクセイセキュリティ 平塚総合体育館。前売りチケットは、Bリーグ公式ウェブやチケットぴあなどで販売しています。市内の小学生はドリームパスポートを使って無料で観戦できます。また、未就学児は膝上観戦に限り無料です。

川崎ブレイブサンダース ー大阪エヴェッサ 2月18日(土)・19日(日)、午後3時試合開始。コートエンド自由席4,000円、スタンド自由席2,500円など。

横浜ビー・コルセアーズ ー三遠ネオフェニックス 22日(水)午後7時試合開始。A席2,800円、2階席1,800円など。

☎ 総合公園管理事務所 ☎35-2233



シュートを放つ川崎ブレイブサンダースの辻直人選手(写真右)

産後シエイプアップ体操

産後の筋力低下や骨盤の歪みを正すことにより、体形を整えます。

3月1日・8日・22日の水曜日、全3回、午後1時30分～2時30分。市内在住で出産して1年以内の母親と首がすわっている乳児25組。800円。

☎ 教室名・必要事項・年齢(子どもの氏名・月齢も)を、はがきで、2月15日(水)までに、〒254-0074大原1-1まちづくり財団スポーツ事業課 ☎35-0102へ。同財団ウェブからも応募できます。

少年少女マラソン大会

3月18日(土)午前9時開会式。荒天中止。中止の場合は、午前6時30分ごろに市ウェブやひらつかスポーツナビに掲載します。コースはShonanBMWスタジアム平塚と総合公園周辺。受け付けは当日午前8時から、同スタジアム正面玄関。市内在住・在学の小学校5年生～中学生。小学生2歳、中学生3歳。

☎ 市ウェブや大原1-1

日頃の練習の成果を試してみませんか

3月14日(日)。厚木市荻野運動公園陸上競技場。

⑤卓球・サウンドテンプルニス 6月11日(日)。寒川総合体育館(寒川町宮山275)。

⑥水泳 7月2日(日)。さがみはらグリーンプール(相模原市中央区横山5-11-1)。

☎ 本館1階の障がい福祉課 ☎21-8774にある申込書を、直接、①は2月27日(月)②③は20日(月)④は3月6日(月)⑤は4月24日(月)⑥は5月15日(月)までに、同課へ。

ひらつかサン・ライフアリーナを無料開放

2月14日(火)午前9時～午後5時。卓球10台・バドミントン2面(当日先着順)。運動用具。詳しくは馬入ふれあい公園ウェブをご覧ください。

☎ 馬入ふれあい公園管理事務所 ☎25-0011

ボウリング教室

プロボウラーが初心者から経験者まで、レベルに合わせて指導します。

2月14日～3月21日の火曜日、午後2時～4時。2月15日～3月22日の水曜日・2月16日～3月23日の木曜日、午前10時30分～午後0時30分。各全6回、神奈中平塚ボウル。各20人(先着順)。6480円。

☎ 電話または直接、宝町10-4 神奈中平塚ボウル ☎23-3786へ。

市民相談

市民相談室

☎市民情報・相談課 ☎21-8764

◇一般市民 月～金曜日、午前8時30分～正午・午後1時～5時

◇一般法律(予約制) 水・木曜日、午後1時～4時

◇行政 2月6日(月)午後1時～4時

◇税務(予約制) 2月24日(金)午後1時～4時

◇登記・供託(予約制) 2月10日(金)午後1時～4時

◇測量・境界(予約制) 2月10日(金)午後1時～4時

◇多重債務(予約制) 2月14日(火)午後1時～4時

◇年金・社会保険・労災(予約制) 2月14日(火)午後1時～4時

◇許認可各種届出 2月7日(火)午後1時～4時

◇不動産(予約制) 2月17

くらしサポート相談

☎くらしサポート相談 ☎21-8813

◇来所・電話 月～金曜日、午前8時30分～午後5時

ヘルスアップ相談 保健センター ☎55-2111

◇来所(予約制) 2月10日(金)・22日(水)、午後1時～3時

成年後見利用支援センター 栗原ホーム ☎35-6175

◇来所・電話 月～金曜日、午前9時～正午・午後1時～5時

社会福祉協議会 福祉会館 ☎33-3100

◇法律(予約制・先着6人) 2月14日(火)・3月14日(火)、午後1時～4時

消費生活センター JAビルかながわ ☎21-7530

◇来所・電話 月～金曜日、午前9時30分～午後4時

子育て支援センター 豊田分庁舎 ☎34-9076

◇未就学児対象の子育て相

障がいがある方の相談

☎障がい福祉課 ☎21-8774

◇手話案内 ☎21-1213 月～金曜日、午前9時～午後3時45分

◇精神保健福祉相談(予約制) 月～金曜日、午前8時30分～午後5時

青少年相談室 市民センター ☎34-7311

◇青少年相談 月～土曜日、午前10時～午後6時30分

◇ヤングテレホン相談(青少年専用) ☎33-7830 月～土曜日、午前10時～午後6時30分

◇ヤングメール相談(青少年専用) ☎y-soudan@

ビジネス相談 ☎産業振興課 ☎21-9758

◇発明・考案・特許(予約制) 2月20日(月)午後1時～4時

◇就労支援(予約制・先着4

女性のための相談

☎人権・男女共同参画課 ☎21-9611(相談専用)

◇来所・電話 月～金曜日、午前9時30分～午後4時

人権相談 ☎人権・男女共同参画課 ☎21-9861

◇来所 2月7日(火)・21日(火)午後1時～3時

子ども発達支援室くれよん 福祉事業センター ☎32-2738 ☎31-1114

◇こどもの発達相談(来所・予約制) 月～金曜日、午前8時30分～午後5時

子ども教育相談センター 崇善小学校北側 ☎36-6013

◇来所(予約制) 月～金曜日、午前10時～午後5時

◇電話 月～金曜日、午前9時～午後5時



博物館

〒254-0041 浅間町12-41
☎33-511111 FAX 31-3949
※6・13・20・27日

■平塚周辺の地盤 平塚の地盤の特性や地形との関わり、成り立ちなどを紹介します。

2月1日(水)～26日(日)。寄贈品コーナー。

■ポスト特別展 知られざる平塚のロケット開発 2月28日(火)まで。情報コーナー。

■天文学入門講座 太陽系と惑星 ⑨太陽とその活動 2月18日(土)午後3時30分～5時。講堂。50人(当日先着順)。

■最新天文学講座 重力波天文学の夜明け 2月26日(日)午後3時30分～5時。講堂。50人(当日先着順)。

■プラネタリウムの投影 上映中の入退場はできません。70人(当日先着順)。200円。18

■郷土史入門講座 日曜日。午前10時30分～正午。講堂。50人(当日先着順)。

2月25日(土)午後3時30分。郷土史入門講座 日曜日。午前10時30分～正午。講堂。50人(当日先着順)。

2月25日(土)午後3時30分。郷土史入門講座 日曜日。午前10時30分～正午。講堂。50人(当日先着順)。

歳未満の方と65歳以上の方は無料です。

☆一般向け番組「銀河鉄道の夜」美しいCGで再現された世界をお楽しみください。

2月4日(土)～4月2日(日)の土・日曜日、午前11時と午後2時。2月11日(祝)と25日、3月11日・25日の土曜日は午前11時から、幼児向け番組「ほしみる おじさん」を上映します。

☆星空と音楽の夕べ 2月18日(土)午後4時。

☆館長の星空解説 いつもの星空「春だ! 京都に…2017」をテーマに、星にゆかりのある京都の寺社などを紹介します。

2月25日(土)午後3時30分。郷土史入門講座 日曜日。午前10時30分～正午。講堂。50人(当日先着順)。

2月25日(土)午後3時30分。郷土史入門講座 日曜日。午前10時30分～正午。講堂。50人(当日先着順)。

2月25日(土)午後3時30分。郷土史入門講座 日曜日。午前10時30分～正午。講堂。50人(当日先着順)。

12日②近世平塚の領主たち26日。ろばたばなし 2月19日(日)、午後1時20分と3時。相模の家。

■ワークショップ 綿であそぼう 綿や綿花の茎でオーナメントなどを作ります。

2月26日と3月5日の日曜日、午前10時～正午と午後1時～4時。科学教室。

■スタイル3! プラネタリウムコンサート 2月24日(金)、午後2時と7時。各60人(抽選)。500円、18歳未満の方と65歳以上の方は300円。

代表者の必要事項・人数(一枚で3人まで)・希望回を、往復はがきで、2月16日(木)までに、博物館へ。

2月25日(土)午後3時30分。郷土史入門講座 日曜日。午前10時30分～正午。講堂。50人(当日先着順)。

2月25日(土)午後3時30分。郷土史入門講座 日曜日。午前10時30分～正午。講堂。50人(当日先着順)。

中央図書館

〒254-0041 浅間町12-41
☎31-0415 FAX 31-9984
※6・13・20・27・28日

■特別整理休館 ①北図書館 2月15日(水)～21日(火)②南図書館 22日(水)～28日(火)③中央図書館 3月1日(水)～8日(水)。

■中央図書館の特集展示 春よ来い 春を感じられるような作品を展示します。

2月26日(日)まで。貸出室。

■中央図書館 映画会 日曜日、午後2時。3階ホール。

2月5日「子ども映画会」名犬ラッシー(アニメ)。12日「子

2月5日「子ども映画会」名犬ラッシー(アニメ)。12日「子

ロビー展●黒川弘毅の彫刻

ブロンズの作品群を展示します。4月9日(日)まで。美術館。

作家によるワークショップ ちゅうぞう ロストワックス 鋳造で作品を作ろう ブロンズ鋳造の歴史を学んで、ワックスで作品を作ります。希望者には作品をブロンズに鋳造して渡します。

3月4日(土)午前10時30分～午後4時30分。15歳以上の方16人(抽選)。2,500円。ブロンズの鋳造を希望する方は別途、手のひらサイズの作品で約1万円。

講座名・開催日時・参加者全員の必要事項・年齢を、はがき・メールで、2月16日(木)までに、〒254-0073西八幡1-3-3美術館 ☎35-2111 FAX art-muse@へ。メールはタイトルに講座名と開催日を記入してください。



32点のブロンズ像が迎えます

まちづくり財団

〒254-0045 浅間町15-1 (市民センター内の文化事業課)
☎32-2237 FAX 32-2240

■市民センター文化サークルの発表会

公演 マジックや合唱など、九つのサークルが練習の成果を発表します。

2月12日(日)午前10時50分開演。市民センター。

作品展示 書道や絵画などの作品約500点を展示します。

15日(水)～19日(日)、午前

ども映画会」大造じいさんとがん(アニメ)・べっかんこ鬼(アニメ)。19日「一般映画会」シェーン(実写)。26日「子ども映画会」ひなまつり(アニメ)・南極犬タロ(アニメ)。

■ブックススタート 市内在住の1歳未満の子どもと保護者。午前10時～11時30分。①2月4日(土)中央図書館②22

日(水)北図書館(田村3-12-15)③3月8日(水)南図書館(袖ヶ浜20-1)④12日(日)中央図書館⑤22日(水)金田公民館(入野108-1)。

電話または図書館ウェブで、中央図書館へ。

■北図書館 小さな展示会 横内ふるさとかるた 2月24日(金)まで。

10時～午後6時(19日は午後3時まで)。中央公民館。

■ひらつか市民合唱祭 3月5日(日)第1部は午前10時・第2部は午後1時30分開演。中央公民館。

美術館

〒254-0073 西八幡1-3-3
☎35-2111 FAX 35-2741
※6・13・20・27日

■市民アートギャラリー 2月12日(日)～26日(日)平塚市展。28日(火)～3月5日(日)日本画なでしこ会展。

博物館モノ語り

学芸担当 ☎33-51111

縄文のタイ

はるか縄文の昔から、人々が魚を保存食として加工していたことを知っていますか。縄文時代にも私たちのなじみのある、クロダイが食べられていました。



住居の炉の上につるされたクロダイ

博物館一階にあるジオラマ「五領ヶ台のくらし」では、市内唯一の国指定史跡である五領ヶ台貝塚をモデルに、約4千年前の人々の生活を紹介します。貝塚からは貝殻だけでなく、魚の骨も数多く発見されました。中でも、クロダイの骨が多く見られます。

とある夕暮れ時、石器を作っている長老のもとに、山に狩りに行っていた若者たちと犬、近くの海岸や森で貝やドングリを拾っていた子どもたちが帰ってきました。家の中では母親が炉の火を使って夕食を作り始

まじ、山に狩りに行っていた若者たちと犬、近くの海岸や森で貝やドングリを拾っていた子どもたちが帰ってきました。家の中では母親が炉の火を使って夕食を作り始

まじ、山に狩りに行っていた若者たちと犬、近くの海岸や森で貝やドングリを拾っていた子どもたちが帰ってきました。家の中では母親が炉の火を使って夕食を作り始

まじ、山に狩りに行っていた若者たちと犬、近くの海岸や森で貝やドングリを拾っていた子どもたちが帰ってきました。家の中では母親が炉の火を使って夕食を作り始

まじ、山に狩りに行っていた若者たちと犬、近くの海岸や森で貝やドングリを拾っていた子どもたちが帰ってきました。家の中では母親が炉の火を使って夕食を作り始

まじ、山に狩りに行っていた若者たちと犬、近くの海岸や森で貝やドングリを拾っていた子どもたちが帰ってきました。家の中では母親が炉の火を使って夕食を作り始

まじ、山に狩りに行っていた若者たちと犬、近くの海岸や森で貝やドングリを拾っていた子どもたちが帰ってきました。家の中では母親が炉の火を使って夕食を作り始

めています。家の中に目を向けましょう。棚を作って肉や魚を置いたり、天井からつるしたりしています。これは、炉から立ち上る熱と煙を利用して食品を加工する工夫です。保存食として「くん製」になっているのはシカやイノシシなどの動物の肉とクロダイです。クロダイは体長70センチにもなる大型魚です。現在でも、本州から九州まで広く生息していて、海岸近くの浅い場所や内湾でも見られます。雑食性なので、いろいろなエサで釣ることができます。大きな口はシカの角で作った大きな釣り針も一口でくわえてしまうでしょう。縄文時代の人々にとって身近な、そして重要な食料だったはずです。今も平塚の海で釣れるクロダイとは、遠い祖先の時代から長い付き合いがあるのです。